

学校説明会『校長挨拶』

(令和6年12月7日午前)



都立農業高校

学校説明会・体験入学

令和6年12月7日(土)



校長 並川 直人
(元明研環境情報学 特任教授)

農業高校は**特色ある都立高校**のひとつ



★都立高校の学科の多様性・・・

- ・全日制普通科 14校3級
- ・普通科(コース制)4校
- ・**農業科**9校・**農業高校**はここ
- ・理科(生物専攻)15校
- ・看護科2校
- ・ビジネス科・商業科7校
- ・ビジネスコミュニケーション科2校
- ・情報科1校、産業科2校
- ・海洋工学科1校
- ・**家庭科**4校・**農業高校**はここ
- ・理数科1校、芸術科1校
- ・体育科2校、国際学科1校
- ・総合学科10校

 **学びの二つの側面**
農業や家庭に関する
ことを**学ぶ**
→ **スペシャリストをめざす**

**農業や家庭に関する
学習を通して学ぶ**
→ **社会で活躍するための力を付ける**

創立 明治42(1909)年 今年で115年目

[illegible][illegible]

農業高校の強みとは

- 「多彩な実践を通して学びを得る」ことができます。
- より深い学びである探究活動へ興味・関心を抱くようになり、**問題解決能力が高まります。**
- 成果を発表（アウトプット）する農芸クラブの大会や家庭科のコンテストなど、多くの機会があります。
- 自分で考えを表現できる**主体的学習（アクティブラーニング）**の力が身に付きます。
- 職業や家庭学科の学習を通して**地域を学ぶ**ことができます。
- サステナビリティ（持続可能性）や自然との共生など、自分でも考えることができるテーマが多い。
- 経済に関する受動学習では得にくい、**やりがいを実感**できます。

農業高校はなぜ“アウトプット”を重視するのか？

学習到達度

学年	達成率	目標達成率
1年	4%	10%
2年	20%	20%
3年	30%	30%
4年	50%	50%
5年	75%	75%
6年	90%	90%
7年	95%	95%
8年	98%	98%
9年	100%	100%

SUSTAINABLE GOALS

最大のアウトプットの機会＝農高祭(文化祭)

ワンポイントアドバイス

Q:得意でない科目を身につけるには
何かい方法はありますか？

A:カクテルパーティー効果とラーニングピラミッドの考えを
活用すると効果的！

★ 得意な科目はなかなか覚えられないけど、得意な科目や好きな歌の歌詞
はすぐ覚えられる。という経験はありませんか？

① SDGs

② STEAM

③ Data Science

生徒は何を期待して農業高校に入学したの？

農業科3科と1科選択 (1年選択)

3年次 男女別

希望割合 (1年選択)

希望割合 (3年次)

農業高校が重視する3つのキーワード

Three key words that Nagyo High schools emphasize

農業科3科と1科選択 (1年選択)

希望割合 (1年選択)

希望割合 (3年次)

農業高校の3年間で何を学びたいの？

農業科3年次と生物科1年次 (n=100)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

職業高校→専門高校→進路希望実現高校

農業科3年次と生物科1年次 (n=100)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

農業高校の3年間で何を学びたいの？

農業科3年次と生物科1年次 (n=100)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

職業高校→専門高校→進路希望実現高校

農業科3年次と生物科1年次 (n=100)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

希望年次別 (希望年次: 1年次, 2年次, 3年次, 4年次)

東京都立農業高等学校 校舎改築計画（案）									
新校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡
新校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡	旧校舎 約1万㎡

安心してください。
専門教育の設備・水準は維持されます。

好きなことに夢中になろう！！

都立農業高校で、「常識や前通」とらわれず、ゼロからイチを生み出す力をつけよう！「夢」を手放さず、一つのことを掘り下げていく姿勢を身に付けよう！」「クローバルな社会課題を解決する意欲を高めよう！」「多様性を受容し、競争と協働する能力を高めよう！」

生徒の夢を創造し実現する学校

高校段階の学習にふさわしい臨床整備の考え方

- ・施設利用に向けた、資格取得など、学校内外で**自由に活用できる臨床**
- ・授業における学びやすさ・教える者のゆとりが**学校単位で同一仕様の確保**

臨床の導入について

- ・令和7年度入学生との協定では、**原則全額購入**していただきます。
- ・臨床に**自らでも自由に活用したことが可能である**。
卒業後もその活用が期待される。
- ・白河でのWU-FRIとの交流も**継続協定の候補者をお願ひします。**

【参考】令和6年度の入学方法

【高等学校】保護者・生徒が専用サイトで入学

【参考】令和6年度の入学補助実績

【高等学校】

- ・**保護費負担軽減補助**
 父兄等の負担軽減定額（3万円）と定額外定額（1万円）
 対象：全世帯
- ・**学習支援補助**
 保護者が負担額（3万円）の2分の1を支援（前年度取得額なし）
 対象：令和6年度4月現在、扶養家族23歳未満の者が3人以上いる世帯
- ・**給付型奨学金（就学奨励金）**
 対象：令和6年度1月現在、扶養家族18歳未満、世帯
 対象：後付型奨学金対象世帯

奨励金のうち給付額は2万円

御静聴ありがとうございました。

「入学したいと思える学校」へ

スライド1

校長：皆様、おはようございます。校長兼調理師養成施設施設長を務めております。並川でございます。今日は土曜日に関わらずお越しいただきましてありがとうございます。具体的な話はその後担当、それから生徒会の生徒の方から説明させていただきますけれど、私の方からは本校の教育理念だったり、教育方針に関わるところを中心に、15分程度のお話をさせていただきます。

スライド2

校長：（本日は中学）3年生が多いというところがございますけれど、特色ある都立高校というふうに本校は言えると思いますけど、たくさんある都立高校の中で、今日は皆さんにお越しいただいたということ。大変嬉しく思っております。本校は明治42年の創立です。115年の歴史を重ねてきた学校でございます。

スライド3

校長：これはご案内のとおりですけれど、普通科・専門学科・総合学科と大きく3つの学科系がございますけれど、本校は農業科と家庭科を併置している、専門学科、専門高校ということになります。

スライド4

校長：私は学びには2つの側面があるというふうについていつもお話をしておりますけど、今日は皆さん（本校には）5つの学科があって、それぞれの学科に関心を持ってお越しいただけてますけれど、農業や家庭に関することを学んでいくというのは、スペシャリストを目指すプロフェッショナルを目指すというね、こうした側面があります。その一方で、農業や学習に関する学習を通して、社会で活躍するための力を、本校の在学3年間で身につけることができますよと、そういった教育課程が編成されているわけでございます。

スライド5

校長：さて、今、中学生の皆さんも含めて、私たちが生きているこの世の中は、^{ソサエティ}Society 5.0、超スマート社会と言われている時代であります。この図は全体のイメージでありますけれど、

スライド6

校長：その^{ソサエティ}Society 5.0の時代。特に、中学生の皆さんが暮らしている、これから世の中を含めて^{ソサエティ}Society 5.0の時代に生きるってどういうことなのかということですけど、今は答えがないとか、答えが一つではない時代なんです。私が、それこそ中学生・高校生の頃は答えにいかん効率よく早くたどり着くのかっていう、まあある意味、正解があって、そこにたどり着くということが重視されていましたが、今はこういう時代です。この時代に必要な力は何かということ、問題を発見し、解決する力であったり、価値を創造する力。こういった力がですね、世の中から求められていますので、在学中にこういった力を身に付けてもらいたいということになっています。

スライド7

校長：共通して求められる力としては、こういった、読み書きに対応する力だったり、科学的な思考・吟味して活用するとかですね。価値を見つけていくとか、多様な人と協働していく、チームワークであったり、リーダーシップ、それから学び続ける忍耐力、そして失敗を恐れずに挑戦する姿勢。そして自己肯定感。こういったものを農業高校の3年間で身に付けることができます。新たな社会を牽引する人材としてはですね、こういったことも含めたですね。農業高校で基盤学力として身に付けていくことができます。それを各学科の学びの2面性の中で体得していくということになります。

スライド8

校長：現在は注意深さとかミスがないこと、あるいは責任感、真面目さというものが重視されてきましたけれど、これからの皆さんが活躍していくべき世の中は、「問題発見力」と「的確な予測」、「革新性」が一層求められると。この「革新性」というのはですね、新しいモノ・サービス方法等を作り出す能力、こういったものを農業高校の3年間で身に付けてほしいという願いがあります。

スライド9

校長：ここにいる皆さんには若い世代、いわゆる^{ゼット}Z世代というふうに言われることが多いですけど、持続可能な社会に対する関心が高いということが、明らかになっています。

この図はみどりの食料システム戦略とあって、農林水産省が策定したものでありますけれど、これは実はですね、農業科だけじゃなくて、家庭科にも大きく共通するような内容になっています。

資材・エネルギー調達における脱炭素の問題とかね、環境負荷軽減、こういった問題も非常に今大きな社会課題になっています。そして、イノベーション等による、持続的生産性の構築、それから無理無駄のない持続可能な加工流通システム、こういったことも非常に問われていますし、環境に優しい持続可能な消費の拡大や食育の推進。

こういうふうに大きな4つの項目を挙げてみても、農業や家庭に関連が非常に強いということも理解いただけると思います。

スライド10

校長：そういった中で、本校の専門教育はですね、不易と流行ってという言葉を私は使いますが、不易というのはやはり基礎基本です。基礎基本を語らずして応用に行くことはできませんので、基礎基本はすごく大事にしつつも、やはり大事なのは「新しい農業科のカタチ」とか「新しい家庭科のカタチ」。そういったものも合わせて勉強していかななくてはいけないというところになっています。

スライド11

校長：さて、今日皆さんは、農業高校にお越しただいておりますけど、初めての方もいらっしゃる、これまで何回かっていう方もいらっしゃるかもしれませんが、どうでしょうか？農業というイメージですけど、皆さんの中にお持ちのイメージはどうでしょうか？古い産業っていうイメージ。やっぱり強いでしょうかね。実は非常に今、先端産業化してましてね。[左上の画像]

これはお茶畑の上にドローンが飛んでいますけど、ドローンに乗せた^{エーアイ}AIで解析をして、マッピングをして、それこそ肥料とか農薬をですね。ピンポイントで撒いていく。ですから経済性も優れて環境負荷も低減する。こういった農業ももう実際行われています。

〔右上の画像〕ブドウの自動収穫ロボット。

〔左下の画像〕これは温室ですが、環境を制御して、スマホの中に「見える化」した状態でデータが出てきますので、それを使って栽培管理をしたりとか、収穫予測をしたりとかね。そういう時代になっています。

〔右下の画像〕これはトマトですけど、いちいち食べたりしなくても、非破壊のセンサーで糖度を測ったりとかですね、どの時期にタイミングよく出荷したらいいか（わかる）、そういった時代になっています。

スライド 12

校長：本校でもそういった時代背景を受けて、スマート農業に関する学習をこれから積極的に取り入れていきます。これは気象センサーですけど、温度気温とか風向風力、雨量とか、様々な気象データをとってクラウド上に飛ばしてですね、手元のこういったスマートフォンで「見える化」して、それを栽培管理とかそういったものに活用していく。あとは調布市に神代農場がありますが、そこに水田があります。それからわさび田に湧水が湧いてますので、そこに水位水温センサーをつけてこちら（データをとる）。そういったデータを活用しながら、それこそわさびの栽培に活かすとか、魚養殖もしてますので、そういったところに活用する。そういったことを展開していきます。

スライド 13

校長：一方、家庭科ですけど、皆さんもご覧の通り、アパレルファッション業界の課題という意味では大量生産、大量廃棄、廃棄物による環境汚染と、非常に深刻になっていきますので、それから現在、いわゆる産地の人権問題とかですね。労働環境の問題も色々と言われています。エシカル消費であったり、エシカル調理、こういったものもしっかりと押さえた上で、ただ単にモノを作るということではなくてですね、こういったことも積極的に取り入れながら、提案しながらですね、関わっていくような、やっぱり服飾・食物の世界というものも求められているところであります。

スライド 14

校長：まとめますと、農業高校の強みという意味では、多彩な学びがありますよと。それから課題解決能力が高まります。それから授業で聞くことはインプットですけど、それをアウトプットする機会がたくさんありますよと。そういう意味ではですね、非常にアクティブラーニングと言われるような能動的な学習の力、それから地域との関わりがすごく多くありますので、まあ地域を学べたり、そして何よりも持続可能性。そして自分で答えを探していく。そういうテーマがたくさんあります。さらには、それに取り組む中でいろんなやりがい・自己肯定感・有用感。そういったものを獲得することができます。

スライド 15

校長：農業高校はアウトプットを大変重視してますけど、なぜそのアウトプットを重視するのかっていうと、今インプット・アウトプットって話もしましたが、あとはね、フィードバックこの関係

性、世の中でPDCAと言われますけど、この関係性です。

中学生の皆さんは、普段中学校で授業とか聞いてますけど、ただ単に授業を聞いてると、学習の定着率は5%ぐらいしかないんですよ。読書で10%とかね。いろんなものを使ったとしてもこんなもんです。大事なのは、積極的な学習という意味で「自ら経験する」それから「他人に教える」。特に他人に、アウトプットして伝えていくためには、やっぱり自分が理解しなきゃいけないので、そういったことを繰り返していくと非常に学習の定着率が高いということがデータからも明らかになってますので、ゆえにアウトプットを重視しているということです。

スライド 16

校長：11月の2日3日には農高祭を開催いたしましたけれど、最大のアウトプットの機会は農高祭ということですね。都市園芸科のような活動だったり、緑地計画科はケヤキのガイドツアーもやったりとか、食品科学科もこういった課題研究の中間発表、服飾科が普段作ったという作品だったり、ファッションショーですね。あるいは食物科については、作ったものをお客様に提供する。こういったアウトプットの機会が随所にあるということでございます。

スライド 17

校長：本当はこれだけで中学生の皆さんに、10～15分お話ししたいところなんですけど、ワンポイントアドバイスということで、得意でない科目を身に付けるために、現実には、年明けに推薦に基づく選抜や学力検査とかってありますけれどね。どうしたらいいのかというと、やはり、繰り返し脳にいい刺激を与えて、反復学習。要は得意科目・苦手科目も、どうしたらいいのかという意味では、やっぱり能動的な学習方法を積極的に取り入れると、学習内容がより効率的に脳に定着させることができるという脳科学的に言われています。苦手なものはなかなか身に付かないところなんですけれど、皆さんは得意な教科とか好きなことってすぐ覚えられますよね。その考え方を応用するといいですよっていうことをお伝えします。

スライド 18

校長：各学科とか本校の教育目標ありますけれど、その一方で私は3つのキーワードがすごく大事だというふうにお話しております。

「SDGs」これはもう中学でも結構やってますよね。

「STEAM」っていうのは、まあいわゆる文理融合とか言われますけれど、科目を横断的に、農業も家庭の世界もそれぞれこう一つの考え方とか、教科だけで解決し得ないんですよ。いわゆる総合科学ですから。普通教科科目で学んでいることと、農業や家庭学科で学ぶこと、あるいは社会事象とこう組み合わせていくっていう、「STEAM」ってすごい大事です。

それから「Data Science」ですね。これは先ほど一つの事例として挙げましたが、スマート農業代表されるデータをしっかりと活用してそのデータを読み解いて、それを分析して新たな価値を作っていくような、「Data Science」ですね。今、大学も学部学科で、データサイエンスに關した学科が大変増えています。それはそれだけ、これから世の中で必要だということです。高校生段階ではデータサイエンティストとかになるわけじゃないので、こういった基本的な考え方を、理解した上で学ぶということが大事になります。

スライド 19

校長：さて、本校の男女比ですが、だいたい4対6ですね。学科によって農業科は半々ぐらいで、家庭

科は2対8というような感じになっています。

それから、どこから通ってますか？という意味では、府中市が22%で周辺のところからもたくさん通って来ていただいているというところであります。

スライド 20

校長：1年生にアンケートを取りました。「何を期待して農業高校に入りましたか？」

農業科・服飾科4学科と、食物科に分けましたが、学力に合っているとか、実習の時間が多
いとか、通学便利、将来の夢に実現。

食物科では、食べることが好きって特徴的なものがありますけど、こういった理由を持って入学
してきてくれています。

スライド 21

校長：では実際に、入学した後、何を勉強したいのかっていうと、「専門的な知識と技能」ですね。あ
るいは「資格取得」といったところが高くなっています。そういったことが実現できるのが本校
です。

スライド 22

校長：進路に関してこの後に進路指導部の主任から話がありますから、ここは飛ばしますが、学んだこ
とを生かした進路実現ってことを大事にしていますので、生徒の皆さんが希望する第1志望実現率
というものを重視しておりますよということでございます。（目標90%以上）

スライド 23

（提示のみ）

スライド 24

校長：グローバル人材の育成ということで、アメリカのハワイ州に海外友好校があります。

ここは海洋とかですね、農業に関する学習もしている高校ですけど、そこで共通のテーマに基
づいたプロジェクト研究みたいなものを中心に組み組んでいきたいなというふうに思っていると
ころでございます。

スライド 25

校長：さて、校舎改築の計画が本校はございまして、皆さん今年度中学3年生が入学していただくと、
令和7年度ということなんですけど、ちょうど高校3年生の夏の頃にプレハブ校舎への移転が予
定されております。まあ今ここに「会場あたりをレーザーポインターで指し示しながら」皆さん
いらっしゃいますけれど、今ここ「グラウンドあたりをレーザーポインターで指し示しながら」
の埋蔵文化財の発掘調査をしています、その調査が終わったら、ここに仮設校舎を建設してこ
ちらの方に移って、こちら「現存校舎をレーザーポインターで指し示しながら」は、新校舎に変
えていくということになります。お伝えしたいのは、「安心してください」というふうに書きま
したけど、専門教育の設備水準は維持されますので、校舎改築だからと、学習する内容をダウン
サイズされるといったことは全くありませんので、そこはご安心くださいというところです。

スライド 26

（ネット上に公開できないため非公開）

スライド 27

校長：中学生の皆さんに伝えたいことですね。「好きなことに夢中になろう」これが今日皆さんにお伝えしたいメッセージであります。ここに書いておきましたけど、「ゼロからイチを生み出す力」とかね「夢中を手放さず、一つのことを取り下げていく姿勢」を身に付けてもらって、「グローバルな社会課題を解決する意欲」、あるいは「多様性を受容し、他者と協働する力」。そういったものを、身に付けてほしいなと思っていますので、ぜひ「好きなことに夢中になろう」。そんな思いを持って受検していただきたいなというふうに思っています。

スライド 28

校長：何度か出てきました、調布の神代農場ですね。こういった湧水、国分寺崖線^{がいつせん}のところから出てくる豊かな水を使っています。それから水田もありますので、そこでお米の栽培だったり、竹林もありますので、たけのこも採れます。神代農場部という部活に入れば、他の学科の生徒もこういった教育資源の中で活動することができます。本校は「生徒の夢を創造し実現する学校」ということを謳っております。

スライド 29

校長：それから「一人1台端末」。今、高校三年生まで「一人1台端末」が入ってきておりますけれど、本校においてもこのように活用しております。今度入学される方についてもですね、ご購入いただくということになりますけど、様々な活動ですね、これは本校での授業の一例でございますけれど、端末を活用していくということが、都立高校全体で進んでおります。

スライド 30

校長：購入方法についてはまた別途ご案内ございます。また、様々な保護者の皆様方の費用負担軽減策もたくさん東京都で用意しています。

スライド 31

校長：それでは私の話はこれで終わります。ご清聴いただきましてありがとうございました。「入学したいと思える学校」づくりに取り組んでおります。この後また具体的なお話も差し上げていきますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。
ありがとうございました。